

# レイモンド・ブリッグズ原作 映画『エセルとアーネスト ふたりの物語』

何杯の紅茶を一緒に飲んだらう。

ささやかな幸せを大切に生きた、ふたりの日々温かな涙があふれる。

1928年、ロンドン。楽天的で陽気な牛乳配達のアーネストは、生真面目で働き者のメイドのエセルと恋に落ち、結婚。最愛の息子の誕生、第二次世界大戦の苦難、戦後の経済発展を経て、ふたりが同じ年に世を去る1971年までの感動の物語。エンディングを飾るのは、原作者ブリッグズの大ファンというポール・マッカートニーによるオリジナル曲。



監督:ロジャー・メインウッド 音楽:カール・デイヴィス エンディング曲:ポール・マッカートニー  
 声の出演:フレンダ・フレッシン/ジム・ブロードベント/ルーク・トレッドウェイ 原題:Ethel & Ernest/2016年/94分/カラー/イギリス・ルクセンブルク/  
 日本語字幕:斎藤敦子/後援:ブリティッシュ・カウンシル/配給:チャイルド・フィルム/ムヴィオラ [child-film.com/ethelandernest](http://child-film.com/ethelandernest)

## 末盛千枝子さん(絵本編集者)

私は、人の人生を辿るような絵本がとても好きでしたので、このレイモンド・ブリッグズの絵本が出た時にも早速手に入れていました。でも、実は、かなり厳しい内容の絵本だったので、「さむがりやのサンタ」とか、「スノーマン」とかのストーリーを考えて観るとちょっと大変かもしれません。それだけに、アニメーションでありながら、イギリスの戦争中の話が実に真面目に描かれていて、いろんな場面で、そういうことだったのか、と思うのです。そして、苦勞して自分を育ててくれた実直そのもののような両親に寄せる一人っこの作者の思いがよく伝わるのです。

## 林望さん(作家・国文学者)

これは、ほんとうに、ほんとうにすばらしい作品ですね。もうずっと涙がとまりませんでした。今も思いだすと涙が滲む思いです。イギリスの空気も思い出され、なつかしくてたまりませんでした。すみずみまでリアルで、このアニメーションのクオリティの高さも特筆すべきものですね。もうアニメーションの領域を超えて、みごとな、丁寧な文学作品です。素晴らしい、掛け値なしの傑作です。

## 片淵須直さん(アニメーション監督)

『この世界の片隅に』のすずさんたちと同じ頃、別の国に住んでいた夫婦のお話です。戦時中に布が足らなければ、「だからスカートは短くしましょう」と反対のことをやっていたり。違うところも、でも、同じところも。世界のもうひとつの片隅が見えました。

9月28日(土)より

11月1日(金)まで

岩波ホール 03 (3262) <http://www.iwanami-hall.com/> 5252

●地下鉄(都営三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線)神保町駅A6出口すぐ上  
 ●JR(中央線)水道橋駅または御茶ノ水駅・下車徒歩12分 ●神保町交差点角

月~金	10:30	13:00	15:00	17:00	19:00
土・日・祝	10:30	12:30	14:30	16:30	18:30

自由席・定員制・入替制・整理券制

10/11(金)

シネ・リーブル梅田 06-6440-5930

近日

名古屋シネマテーク 052-733-3959

KBCシネマ 092-751-4268

シネマイーラ 053-489-5539

鹿児島ガーデンズシネマ 099-222-8746

11/22~12/26

伊勢進富座 0596-28-2875

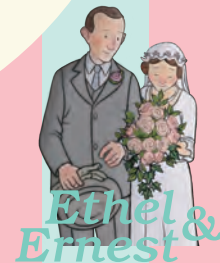
京都シネマ 075-353-4723

# 映画『エセルとアーネスト ふたりの物語』公開記念



# I ♥ BRIGGS

キャンペーン



「さむがりやのサンタ」「スノーマン」「風が吹くとき」の  
 レイモンド・ブリッグズに  
 感謝と愛をこめて

ブリッグズさん、あなたの絵本が大好き!かけがえのない思い出をありがとう。

# I BRIGGS

キャンペーン

イギリスでは毎年クリスマスになると「スノーマン」のアニメーションが放送される、レイモンド・ブリッグズを知らない人がいないほど、長く愛される国民的作家です。でも日本では、「スノーマン」は知っている、ブリッグズの名前までは・・・という方も多しはず。そんな方たちに、もっとブリッグズ作品の魅力を知ってほしくて、I LOVE BRIGGSキャンペーンを開催中です。



## レイモンド・ブリッグズ

1934年1月18日、ロンドン・ウィンブルドン生まれ。1973年の「さむがりやのサンタ」で絵本作家デビューし、世界三大絵本賞の1つケイト・グリーンウェイ賞を受賞。漫画のようなコマ割りスタイルが特徴で、多くの作品が映画化されています。ブリッグズの大ファンというポール・マッカートニーやデヴィッド・ボウイが、喜んで映像化作品に音楽を提供。子供のファンタジーから、反戦まで幅広いテーマを扱いながら、どこにでもある日常を大切に描く作家です。



### スノーマン

(1978年) 評論社

少年とゆきだるまが楽しくすごした、ファンタスティックな一夜のできごと…。やさしく温かい愛と夢にみちた、名作絵本。最後のゆきだるまとの悲しい別れが胸にしみます。1982年にアニメーション化され、アカデミー賞短編アニメ賞にもノミネートされました。デヴィッド・ボウイがナレーションを担当。



### サンタのなつやすみ

(1975年) あすなろ書房

サンタさん、夏は何をしているの?そんな疑問に答えたゆかいな絵本です。バカンスに出掛けたサンタは、パリの街角を歩いて、プールサイドで寝そべって・・・ユーモアあふれるサンタの夏休みのおはなし。



### さむがりやのサンタ

(1973年) 福音館書店

「やれやれまたクリスマスか!」寒さにグチをいい、煙突に文句をいいながら町の子どもたちにプレゼントを配ります。皮肉屋だけど実はやさしい、人間味あふれるサンタクロースを描いた傑作絵本です。



### 風が吹くとき

(1982年) あすなろ書房

のどかな老夫婦の日常を一瞬にして引き裂いた原子爆弾。核兵器の恐ろしさをリアルに伝える世界的ベストセラー。

1986年にアニメーション化され、日本では、大島渚による演出、森繁久彌、加藤治子の吹き替え版が公開され注目を集めました。音楽をデヴィッド・ボウイが担当。



### エセルとアーネスト ふたりの物語

(1998年) ハベルプレスより2019年8月29日発売

レイモンド・ブリッグズが自身の両親の人生を描いた英国ブックアワード受賞の絵本。1928年から戦争をはさんで71年まで、変化の激しい時代を生きた両親の何気ない日々の暮らしを、愛情込めて丁寧に描いています。2016年に映画化。イギリスでTV放送された際、ツイッターで「両親を思い出した」「祖父母に会いたくなった」と多くの投稿があり、注目ツイートの1位となりました。エンディング曲をポール・マッカートニーが書き下ろし、歌っています。

映画化  
9/28  
公開

# I BRIGGS

ツイッターキャンペーン



缶バッジデザイン

レイモンド・ブリッグズ原作、映画『エセルとアーネスト ふたりの物語』の公開を記念して、特製缶バッジを抽選でプレゼント。

### 【応募方法】

- ① @ethelanderne2 をフォロー
  - ② ハッシュタグ「#ilovebriggs」を付けてブリッグズ作品の感想や、まだ読んだことのない方へのおすすめポイントをツイートして応募完了
- 実施期間①: 8/26(月)~9/10(火) 23:59まで  
実施期間②: 9/16(月)~9/24(火) 23:59まで  
※それぞれ各10名にプレゼント。当選はDMにて。

### 【その他の主な作品】

- 1977年: いたずらボギーのファンガスクン
- 1980年: ジェントルマンジム
- 1992年: おぢさん
- 1994年: くまん



実際のエセルとアーネスト(ブリッグズの両親)